

独語学独文学専攻

1. 専修科目, 授業科目, 単位数, 担当者及び主研究内容等

※ 担当者氏名前の○印は, 令和6年度の学生募集担当者を表します。

専修科目	授 業 科 目	単位数	担当者	主研究内容等
独語学	独 語 学 特 別 研 究 Ⅲ	4 又 は 12	教授 Dr. phil. ○森澤万里子	テキスト種特有の文体を社会言語学や社会語用論の観点から分析することにより, 情報の発信者(テキスト作成者)と受信者をめぐる考察を深める。扱う時代や具体的なテキスト種は受講者が取り組んでいるテーマを勘案して決める。学会発表, 学術論文, ひいては学位論文作成に関する指導も行う。
	独 語 学 特 論 Ⅲ	4		テキスト種特有の文体を社会言語学や社会語用論の観点から分析する手法を呈示することにより, 受講生の研究方法の基礎作りを目指す。扱う時代は受講生が取り組んでいるテーマ・時代を勘案して決める。
独文学	独 文 学 特 論 Ⅰ	4	教授 博士(文学) 富重 純子	近現代のユダヤ系ドイツ語作家の詩学研究。ハイネの「パランプセスト」, アイヒンガーの作品の「理解不可能性」, ゴルトシュミットの翻訳論などを検討する。また, 彼らの作品構成と歴史哲学の相克についても, 考察していくことにする。
	独 文 学 特 別 研 究 Ⅱ	4 又 は 12	教授 ○金山 正道	トーマス・マン, シャミッソー, ゲーテ, レッシングおよびいわゆる「民衆本」を主たる対象とし, これらの作家・作品, ことにファウスト作品を中心に「契約」のモチーフの変遷と特性について, その本来の出所である聖書に立ち返り, 考察する。 この考察をとおして, サイエンスとしての文学研究の方法を着実に身に付け, 最終的に博士論文の作成を目指す。
	独 文 学 特 論 Ⅱ	4		ドイツの土壌を中心に発展したファウスト文学と, スペイン・イタリア・フランス等のロマンス語圏を中心に成長した「ドン・ファン文学」とを比較しながら, ドイツ語圏におけるドン・ファン文学とファウスト文学を比較することによって, ドイツ的ファウストの特性を究明する。また, 聖書のモチーフとファウスト文学に見出されるモチーフとの関係について, 従来の研究では扱われてこなかった, あるいは未発見の聖書に由来するモチーフに関して考究する。
	独 文 学 特 論 Ⅲ	4	教授 永田 善久	ヤーコプ・グリムによるゲルマン法研究の総論とも言うべき論文「法の内なるポエジー」を読む。原文で75ページにも及ぶ浩瀚なこの論文は, 古ゲルマン法の中にポエジーを見出すという彼の歴史的法学研究の全体的な提示であり, 彼の名著『ドイツ法古事誌』や『判告録』の簡潔なレジュメとも見做せる。古ゲルマン法研究が, どのような点で『グリム童話集』や『ドイツ伝説集』と関連するのか, グリムのメルヒェンやザーゲを深いところから理解できるようになることを目指す。
	独 文 学 特 論 Ⅳ	4	教授 博士(文学) 堺 雅志	批評の「方法」研究—作品のうちなる声を聞く— 芸術に関する言説の妥当性と限界について考察する。音楽や美術など, 黙した芸術は, 批評を通じて雄弁に語りはじめ。あるいは批評は, 対象とする作品に関する従来の判断を覆し, 芸術の新たな側面を照射しうる。ところで文芸は, それ自体がすでに語る芸術であるから, それについて語る批評は, 語る芸術がそれでもなおうちに秘めた語りえざるものを白日の下にさらす営みである。芸術批評における文芸批評の特殊性を考えるため, 様々なジャンルにわたるドイツ語圏の記念碑的な批評を読み, 批評の方法を詳細に検証する。受講生にはこれを通じて, 研究対象への接近方法に対する内省の一助としてもらいたい。

その他の科目（担当者未定科目）

授 業 科 目	単位数	授 業 科 目	単位数
独 語 学 特 別 研 究 I	4 又 は 12	独 文 学 特 別 研 究 I	4 又 は 12
独 語 学 特 別 研 究 II	4 又 は 12		
独 語 学 特 論 I	4		
独 語 学 特 論 II	4		

2. 履 修 方 法

- ① 学生の標準修業年限は3年とし、所定の研究指導科目について、合計12単位以上を修得しなければならない。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- ② 研究指導科目のうちから一つの特別研究科目を選定し、これをその学生の専修科目とする。その専修科目を必修とし、12単位を修得しなければならない。
- ③ 特別研究科目は3年間12単位の履修を原則とするが、専修科目としない場合は、1年間4単位の履修も認めることがある。
- ④ 専修科目の研究指導（特別研究）担当者を当該学生の指導教員とし、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導に従うものとする。
- ⑤ 博士の学位論文は、専修科目について提出するものとする。

※昼夜開講制について

独語学独文学専攻では、働きながら大学院で学ぶことを希望する社会人の学修を容易にするために、昼夜開講制を導入しています。本専攻を志願し、夜間の受講を希望される方は、出願の前に大学院事務課（人文科学研究科担当）へお問い合わせください。